

平成20年度 事業報告書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

特定非営利活動法人 薬学共用試験センター

1 事業の成果

昨年度に引き続き平成21年度の薬学共用試験本実施に向けた準備を遂行した。CBTに関しては、開発中の各種関連ソフトを若干改良し、全国の薬系大学教員が作成した候補問題を出題して、本実施と同等規模で全国薬系大学にてトライアルを実施した(受験者:4年制4年次学生9,055人)。本実施に向けての準備がほぼ整ったことが確認された。OSCEに関しては、全国共通の認識を持つ標準模擬患者を養成すべく講習会やフォーラムを開催する一方、薬系大学62校にてトライアルが実施し、課題や評価項目、評価基準の妥当性、運用面での留意事項などを検討した。全国共通の理念に則ったOSCE実施の基盤がより盤石になったと判断している。

2 事業の実施に関する事項

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	OSCE新規標準課題案等に関する説明会を開催し、新規標準課題案のポイント、平成20年度トライアルにおける検証方法などについて協議した。	平成20年4月6日	慶応義塾大学薬学部	23人	全国薬系大学の教員(約80名)	470
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	薬学共用試験OSCE標準模擬患者(SP)養成に関するフォーラムを開催し、各大学のSP養成における工夫や問題点を共有した。	平成20年8月7日	慶応義塾大学薬学部	13人	全国薬系大学の教員(約80名)	17
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	各薬系大学におけるCBTトライアル実施に必要な種々の準備事項の概略説明の目的で、CBTトライアルに向けての説明会を開催した。	平成20年9月2日	慶応義塾大学薬学部	7人	全国薬系大学の教員(約170名)	54
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	第1回OSCE標準模擬患者(SP)養成伝達講習会を開催し、OSCEにおけるSPとしての役割や協議し、各大学においてSPを養成する際のポイントを確認しあった。	平成20年9月7日	神戸学院大学	13人	全国薬系大学の教員(約200名)	133
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	全国の薬学生(4年生)の9,055人が受験生として参加した本番スケールのCBTトライアル(延べ97セット)を実施した。	平成20年11月1日～12月15日	北海道大学ほか61薬系大学62学部	101人	全国薬系大学の教員(約200名)、及び薬学生(9,055名)	2,430
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	全国の薬学生(主に4年制4年生)が受験生として参加した本番スケールのOSCEトライアル(62校)を実施した。	平成20年4月2日～平成21年3月	全国62薬系大学	20人	全国薬系大学の教員(約400名)、及び薬学生(約8,000名)	100